

Vector Optics Forester 1-5x24 GenII Rifle Scope 取扱説明書



警告：ライフルスコープ または他の光学機器) を通し、絶対に太陽を見ないでください。

アイピース (対眼レンズ) 焦点方法

アイピースは、接眼部から目までのある程度の距離を取ることで正確かつ高速の焦点を提供するように設計されています。アイピースは不正確さを調整する際、目よりも早くピントを合わせることが出来ます。

スコープ装着方法

ライフルスコープは、マウントリングを緊ぎ目がピッタリ合うようにライフルに取り付けられています。ライフルに合うようにデザインされたマウントを使用してください。

スコープは、バレルまたはレーザーのいずれかに触れることなく出来るだけ低く取り付けようにしてください。安全上の理由から、射撃の際には、スコープと目の間に少なくとも、も3インチ (76.2 mm) の空間を設けてください。ライフルスコープを前方または後方にスライドさせると、全開の視界を見ることが出来る最適な接眼距離が得られ、スコープの垂直の十字線が垂直で水平の十字線が水平になるように、マウントリング内でライフルスコープを回転させます。位置が決まったらすべてのネジを締め、スコープをライフルにしっかりと固定してください。その際マウントリングをきつめ締めないでください。スコープとマウント部分にダメージをもたらす可能性があります。

ゼロイン (零点規正)

フォレスターライフルスコープには、指で調整可能なクリック音によるエレベーション (仰角) とウィンテージ (偏流) (風の影響による弾丸の偏差) の調整機能があります。エレベーションは、通常、スコープの上部にある上下の調整です。ウィンテージは通常はライフルスコープの右側にあり、水平 (左から右) の調整になります。エレベーションとウィンテージの調整部分からカバーを外します。1/2 M.O.A または 1/4 M.O.A のエレベーションとウィンテージのクリック1による調整では1クリック音は100ヤード (91.44m) の0/12インチ (12.7mm) または14インチ (6.53mm) の着弾点の移動を意味しています。

ライフルを固定台に置き、100ヤード先の標的を狙います。ゆっくりターゲットに3回から5回のラウンドテスト射撃をする。弾丸の着弾点を移動させたい方向にエレベーションとウィンテージのスクリューを調整します。調整をクリックするたびに、着弾のポイントが移動します。またもう一度、別の3から5ラウンドのテスト射撃を撃ってください。目標のポイントに達するまで繰り返します。

調整スケールリングのリセット

このステップは必要ではありませんが、参考として、調整スケールリングのゼロマークをインデックスドット1点で再調整したい場合です。ライフルスコープをゼロ調整した後、自由に回転させることの出来るようになっている調整スケールパネルを回転させ、0をインデックスドットに合わせます。最後に2つの調整キャップをすべて再取り付けします。

拡大倍率の調整

倍率を変更するには、インデックスドットで設定された倍率に達するまでパワーセレクトリングを回します。一般的に、近距離での迅速な射撃のために広い視野にするためには倍率を弱め、正確な長距離射撃には、より高い倍率にする必要があります。

バッテリーの交換

ライフルスコープの照明は1個のCR2032バッテリーで動いています。照明が暗くなったりオンしない場合は、バッテリーを交換する必要があります。バッテリーを交換するには、適切なコイン、ネジ、ドライバーを使用してバッテリー内蔵部分のカバーを取り外します。使用済みのバッテリーを取り外し、新しいバッテリーを挿入しカバーを再び閉めます。

密封、防水および防滴

ライフルスコープは窒素が注入されており内部の湿気を除去し、埃や湿気の侵入を防ぐためにOリングも備えています。

メンテナンス

ライフルスコープは、非常にタフな作りですが、十分な注意を必要とする精密な器具ですのでレンズを掃除するときは、まず埃やほこりを吹き飛ばし、柔らかいレンズブラシを使用してください。指紋や潤滑剤はレンズティッシュで拭き取るか柔らかくきれいな綿布にレンズ洗浄液で湿らせてから拭きます。

*ライフルスコープのすべての可動部分は永久的に潤滑されていますのでその部分に注油しないでください。

*汚れや指紋を柔らかい布で拭き取る場合を除きライフルスコープの外側にメンテナンスは必要ありません。

*レンズカバーを随時使用すると便利です。

保管

暑い日に車内のシート部分などの暑い場所に保管することは避けてください。多湿は、潤滑剤および密封剤に悪影響を及ぼす可能性があります。車のトランク、銃用の飾り棚またはクローゼットが望ましいです。太陽光が直接対物レンズに入る可能性のある場所にライフルスコープを放置しないでください。太陽光線の集中（ガラスによる太陽熱取り現象）によりダメージが発生します。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

www.vectoroptics.com

VECTOR OPTICS



Etched Glass VFD-2 十時線

